

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度（1学年用）教科

保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

使用教科書：（大修館書店）

教科 体育

の目標：事故・ケガの防止に努め、生徒の自主性を促しながら、記録・体力の向上を目指す。

【知識及び技能】今までに身に付けた運動能力や知識を基礎に、様々な練習方法や作戦を駆使して運動することができること。

【思考力、判断力、表現力等】今までに身に付けた運動能力や知識を基に、自己の体を使って様々な運動を表現すること。

【学びに向かう力、人間性等】運動を通して仲間とコミュニケーションを取り、協力して取り組むこと。

科目 体育

の目標：事故・ケガの防止に努め、生徒の自主性を促しながら、記録・体力の向上を目指す。

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|--|
| 生涯にわたって必要な運動の知識や技能を身に付け、自身の健康を保持増進するとともに、生涯にわたってスポーツライフを実践しようとする。 | 運動を通して、自身の考えを正確に伝えたり、他者の考えを正確に聞き取り、協力して様々な運動を表現しようとする。 | 自身の体力・技術の向上のみならず、他者への助言を通して協力して、運動に取り組もうとしている。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|----|---|--|---|---|---|---|------|
| 前期 | ・オリエンテーション 【知識及び技能】 体育の約束事を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 体育の約束事を理解し、実践せ る。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力して約束事を守らせ る。 | ・授業時の服装や施設の説明、禁 止行為や年間授業種目の説明、感 染症対策を理解する。 ・オリエンテーション資料 | 【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体 的に学習に取り組む態度】を実技テストや ワークシート、日頃の取り組みなど各観点に 基づいて評価し、学年末に5段階評価の評定 にまとめる。 | ○ | ○ | ○ | 2 |
| | ・体つくり運動/体育理論 【知識及び技能】 スポーツテスト及び体育祭種目の ルールを把握し、実施させる。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツテスト及び体育祭種目の 運動を他者と協力して表現させ る。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力して実施させる。 | ・新体力テストの計測の仕方や内 容を理解する。 ・新体力テストの安全面を理解す る。 ・スポーツテスト各種目の用具 ・体育祭各種目の用具 | 【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体 的に学習に取り組む態度】を実技テストや ワークシート、日頃の取り組みなど各観点に 基づいて評価し、学年末に5段階評価の評定 にまとめる。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | ・水泳/球技 【知識及び技能】 水泳 クロール・平泳ぎを習得させる。 球技 男子：ソフトボール 女子：バスケットボール・バレー ボール 基礎基本を定着させる。 【思考力、判断力、表現力等】 水泳 クロール・平泳ぎの泳ぎ方とタイ ム向上について協力して実践させ る。 球技 それぞれの種目について仲間と協 力して基礎を徹底させる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者に助言したりされたりして、 協力して実施させる。 | 水泳 ・キックとストロークに分け、一 つ一つの動作を確認する。 ・呼吸の仕方やタイミングを指導 し、長く泳げるようにする。 ・水泳に必要な用具 ワークシート 球技 ・基本的な技術を定着させ、周囲 に教えたり、周囲から教わったり する。 ・課題 のある技術や戦術について、周囲 と相談しながら練習を考え、教え 合いながら改善に取り組む。 ・各種目に必要な道具 ワークシート | 【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体 的に学習に取り組む態度】を実技テストや ワークシート、日頃の取り組みなど各観点に 基づいて評価し、学年末に5段階評価の評定 にまとめる。 | ○ | ○ | | 24 |
| 後期 | ・体つくり運動/体育理論 【知識及び技能】 ストレッチやトレーニングを通し て必要性を確認させる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々なストレッチやトレーニング を部位別に考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者に助言したりされたりして、 協力して実施させる。 | ・ストレッチやトレーニングを通 して、重要性や必要性を実感さ せ、生涯にわたって取り組めるよ うな運動を考えさせながら取り組 む。 ・スト レッジやトレーニングに必要な用 具 ワーク シート | | ○ | ○ | ○ | 8 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|--|--|--|---|---|---|------|
| <p>持久走/球技 【知識及び技能】</p> <p>持久走 クーパー走や記録会を通して自己のペースを把握し、自己ベストタイムを出させる。</p> <p>球技 ・男子：バレーボール・バスケットボール 女子：ソフトボール 【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>持久走 球技 ・男子：バレーボール・バスケットボール 女子：ソフトボール それぞれの種目について仲間と協力して基礎を徹底させる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者に助言したりされたりして、協力して実施させる。</p> | <p>陸上 【知識・技能】 自己のペースを把握して、安定して長い距離を走れるように取り組む。 球技 ・ 基本的な技術を定着させ、周囲に教えたり、周囲から教わったりする。 ・ 課題のある技術や戦術について、周囲と相談しながら練習を考え、教え合いながら改善に取り組む。 ・ 長距離走に必要な用具 球技の各種目に必要な用具</p> | <p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】を実技テストやワークシート、日頃の取り組みなど各観点に基づいて評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。</p> | | | | |
| | | | ○ | ○ | ○ | 34 |